第39回東日本中学生ラグビーフットボール大会~ラグビースクールの部及び女子の部~

兼 第25回全国ジュニアラグビーフットボール大会ファーストステージ

# 実施要項 <抜粋版> <u>赤字箇所・修正Ⅱ版</u>

1. 目的 関東協会管下の RS 及び Jr. RC(女子は中学校を含む)に所属する中学生で編成された都道県代表チームによる大会を実施、東日本地域での中学生ラグビー活動を活性化し、中学生プレーヤーの交流を促進すると共に、心身の発達と、競技力の向上を図る。同時に、中学生ラグビーに携わる指導者の質の向上を図り、中学生プレーヤーを始め、関係中学生が健全な社会形成者として必要な資質を得られるよう働きかけることを目的とする。

### 2. 名称

第 39 回 東日本中学生ラグビーフットボール大会・ラグビースクールの部及び女子の部 兼 第 25 回全国ジュニアラグビーフットボール大会ファーストステージ

- **3. 主催** 関東ラグビーフットボール協会
- 4. 主管 北海道、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県の各ラグビーフットボール協会
- **5. 期日・会場** 令和元年 10 月 6 日~11 月 10 日
- ラグビースクールの部(男子) ■
- ◇ ファーストステージ

第1地区: 10月20日 北海道函館市根崎ラグビー場

第2地区: 10月22日 福島県双葉郡楢葉町Jヴィレッジ

第3地区: 10月27日 群馬県桐生市ユーユー広場(サッカーラグビー場)

第4地区: 10月06日 埼玉県熊谷市熊谷ラグビー場 B グラウンド

- ◇ セカンドステージ: 11月09日 千葉県総合スポーツセンター 習志野自衛隊演習場
- ◇ ファイナルマッチ: 11月10日 千葉県総合スポーツセンター
- 女子の部 ■

11 月 9 日~10 日 千葉県総合スポーツセンター

- 6. 大会形式 (試合組合せ・対戦) ※ 試合対戦表、組合せ表は別紙に記載する。
- 7. 出場チームの要件 参加チームの出場要件は以下の通り。
  - ※ 各都県は、本年度のJRFU・ベースキャンプ活動に参加(登録)が必須。
- スクールの部 ■

主催協会管下の都道県協会が承諾、推薦する当該協会に所属する全ラグビースクールの「主登録選手」から選考した「男子選手」によって編成された代表チームとする。 但し、都道県単独でのチーム編成ができない場合は、主催協会が事前に調整、承諾し複数の都道県協会で編成したチームとする。

■ 女子の部 ■

要件はスクールの部と同様で、「女子選手」によって編成された代表チームとする。

## 8. 地区割りと出場チーム

- スクールの部 (以下 14 チーム) ※ 北東北は青森県と秋田県の RS 代表
  - ・第1地区 北海道 RS 代表 北東北 RS 代表 岩手県 RS 代表
  - •第2地区 宮城県RS代表 福島県RS代表 新潟県RS代表
  - •第3地区 群馬県RS代表 栃木県RS代表 茨城県RS代表
  - •第4地区 千葉県RS代表 埼玉県RS代表 長野県RS代表
  - ・第1シード 神奈川県 RS 代表 ・第2シード 東京都 RS 代表
- 女子の部 (以下5チーム)
  - · 東北 北海道女子代表(北海道、秋田県、岩手県、宮城県、福島県)
  - · 関東女子代表(埼玉県、栃木県、千葉県、茨城県)
  - ・甲信越 群馬女子代表(新潟県、長野県、山梨県、群馬県)
  - 東京都女子代表
- · 神奈川県女子代表

# 9. 参加資格

- 1) (公財)日本ラグビーフットボール協会に個人登録されている者で、主たる活動チーム から参加している者とする。※ 副チームから参加することはできない。
- 2) 選手は、U15 カテゴリー (中学 2 年生、3 年生) (※1) の該当者であり、平成 16 年 (2004年) 04月 02日~平成 18年 (2006年) 04月 01日に生まれた者で、主登録チームから 推薦(承諾)された者とする。
- ◇ 原則、中学3年生を対象とするが、能力の高い中学2年生(平成17年4月2日~平成18年4月1日に生まれた者)の参加は事前申請書を提出することで認可(特例)する。
- ◇ 過年度生の試合への出場は(公財)日本ラグビー協会の規程に従って、同一時間に1名 の出場に限る。但し、下記3)に該当する者は本特別措置の適用はしない。
- 3) 外国籍選手の試合への出場は同一時間に1名以内の出場に限る。
- 4) 参加選手は、事前に「保護者承諾書」を提出しなければならない。
- 5) チームの役員2名の内、1名はJRFU公認コーチ資格(新スタートコーチ資以上)とする。
- ◇ また、チームの登録役員の内1名は、現時点で当該都道県協会の役員であること。
- 6) 出場チームの選手・役員は、本大会期間を対象とするスポーツ安全保険やスポーツ傷害保険と同等か、それ以上の傷害保険に事前に加入していなければならない。

### 10. チームの構成

- 1) チームは「登録候補選手(スコッド)」15名以上、30名以内、及び役員2名で構成する。 「登録候補選手」は、1チームにつき選手30名まで登録することができる。※本年度は 事前に追加申請書を提出することで帯同コーチを追加で3名まで登録可能とする。
- 2) 登録候補選手の中から、試合に出場(ベンチ入り可能)できる選手人数は1チームに つき選手22名以内(最低登録選手数は15名)とし、試合ごとに登録候補選手の中か ら選手を選出し、メンバー表を本部に提出する。
- 3) 試合グラウンド、及びベンチに入ることができるのは、メンバー表に記載された登録

役員2名(及び追加帯同コーチ3名以内)、登録選手22名以内、合計27名以内とする。

【確認事項】 ベンチ入りメンバーの内、最低5名はフロントローとしてしっかりと安全 にスクラムを組むことができる選手を揃えていなければならない。

4) チームはセーフティアシスタント(以下「SA」) 1名を登録することができる。 SAは SA認定証を携行する。SAは試合前にマッチドクターに SA認定証を提示し、試合 中はドクター席横に待機し、マッチドクター(マッチドクター不在の場合はグラウンド 責任者)の指示に従って適宜、活動する。SAのベンチ入りは不可とする。

## 12. 競技規則及び競技方法

- 1) (公財) JRFU 制定の平成 30 年度 U-15 ジュニアラグビー競技規則による。 同時に同協会「U-15 ジュニアラグビー競技ガイド」を準拠する。
  - ※ レッドカードを受けた選手は、原則としてその後の本大会の試合には出場できない。 但し、最終決定は主催協会普及育成員会の決定に委ねる。
- 2) 試合時間;1日1試合の場合は20分ハーフ、1日2試合となる場合は17分ハーフ ※ 女子の部は、全試合15分ハーフ(本大会の特別ルール)
- 3) 順位決定方法 (スクールの部、女子の部とも)
  - プール戦(含む女子の部リーグ戦):勝ち数の多いチームが上位となる。
    2 チーム以上が同じ勝ち数の場合、下記の順(多い)で順位を決定
    ① 引き分け数 ② 総得失点差 ③ 総得点 ④ 総トライ数 ⑤ ゴール数
    ※ ①~⑤で決定できない場合は、抽選とする。
  - ◇ トーナメント戦:同点の場合上位戦へ進出するチームは、下記の順(多い)にて決定 ① トライ数 ② ゴール ※ ①~②決定できない場合は、抽選とする。
- ※ 組合せ、対戦は、6. の大会形式による。※別紙、組合せ、対戦表を参照下さい。

# 13. 費用 (大会参加料)

- 1) 原則として参加チーム(参加者)の負担とする。
- 2) 但し、遠方チームに対しては交通費の一部を補助する。
- 3) 大会参加費は、登録選手、指導者(含む追加帯同コーチ)、SAともに1人500円とする。 ※ 但し、追加帯同コーチの氏名はプログラムには掲載しない。
- 4) 試合中発生の負傷等の医療費(健保扱い)や経費は、チーム(選手)の負担とする。

# 13. 表 彰

- スクールの部 カップ戦、プレート戦ともに1位~3位
- 女子の部 1位~2位

# 14. 全国ジュニア大会への推薦

以下の成績を収め品行方正であると認められたチームを「第 25 回 全国ジュニアラグ ビーフットボール大会・ファイナルステージ」に推薦する。

- スクールの部:カップ戦の1位~3位、及び第4代表決定戦での勝利チーム
- 女子の部: 優勝チーム(JRFUにて今年度は関東協会枠1チーム)

(※) JRFU への推薦順位は、本大会の結果、本協会で審議の上、決定する。 なお、上位 の一部については中学校の代表チームとの推薦順位戦(12月1日・成蹊大学グラウンドで調整中)を想定する。

### 15. 健康管理

- 1) 出場チームの登録役員は、保護者から保護者承諾書を受領し、選手が健康であり本大会への出場に問題がないことを確認すると同時に過去の病歴や既往症などを把握し、 選手が良好な健康状態を保てるよう管理努力すること。
- 2) チーム(引率役員)は、大会期間中、選手の健康管理には十分注意しなければならない。

【主催協会事務局】関東ラグビーフットボール協会 〒107-0061 <u>港区北青山 2-8-35</u> TEL03-3423-4421/FAX03-3423-4619 info@rugby. or. jp